

協働パイロット事業 研究授業 シナリオ 所要時間40分 予備5分 笑顔・教室全体にめくばりを忘れずに！

1. 課題をつかむ(5分) 注) 時間は3時限目が上段、4時限目が下段

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応(質問への回答) |
|------------------|---|----------|---------------|
| 10:35 (11:30) | 1. 担任の先生が配布物を配り、講師の紹介をする 今から「インターネットを使う前に注意しておきたいこと」を勉強します。今日の先生は〇〇〇さんです。 〇〇さんは静岡市内でパソコンやインターネットの使い方を教える仕事をしています。<先生から児童へ一言> | 配布物を受け取る | |
| 10:37 (11:32) | 2. 講師あいさつ 「おはようございます！(明るく大きな声で挨拶する)」 「今日みんなと一緒に勉強する〇〇です。」 | | |
| 10:38 (11:33) | 3. 配布物を確認する 「さっき、担任の先生に配っていただいたものを確認します。」 「新聞の紙はありますか？学級新聞と校外新聞が1枚ずつです。」 「次に、記事の紙を確認します。黄色(記事1)が2枚、ピンク(記事2)が2枚、白の記事3が2枚と記事をのせないと書いてある紙が2枚です。」 「最後に赤と青のカードです。これは、私の質問に答えてもらうときに使います。カードは後で集めるので、きれいに使ってください。」 「全部ありましたか？」 | 配布物を確認する | |
| 10:40 (11:35) | 4. カードを上げる練習をする 「では最初に、赤と青のカードを上げる練習をしましょう。」 「インターネットを学校の授業以外でやったことがある人は赤、やったことがない人は青を上げてください。」 「はい、カードを下ろしてください。」 「赤と青のカードはこんなかんじで使います。またあとで質問することがあるので、よろしくお願いします。」 | カードを上げる | |

2. 解決の計画をたてる（10分）

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応（質問への回答） |
|------------------|--|---------------------------|---|
| 10:42 (11:37) | 1. <今日のテーマ> 「今日は、インターネットを使う前に注意しておきたいことを勉強します。でも、みんな、あんまりやったことがないみたいなので、学級新聞を使って書いていいことと悪いことを考えてみます。」 「学級新聞と校外新聞の紙を出してください。」 | 児童用新聞用紙（2枚）を出す | |
| 10:43 (11:38) | 2. <前提の確認> 「学級新聞は教室、校外新聞はスーパー富士屋の掲示板に貼ります。」 「それぞれの場所に貼ったときに、誰が新聞を見るか、考えてみましょう。」 | | |
| 10:43 (11:38) | 3. <教室に貼る新聞を見る人の確認> 「教室に貼るとだれが新聞を見ますか？」 「わかった人は赤、わからない人は青を上げてください」 「はい、カードを下ろしてください。」 (わかった人の中から2人に回答させる、カードに番号が書いてあるので、番号で指名するとよい) →回答を黒板の余白（学級新聞の横がよい）に書く 【ポイント】 回答は複数になってもよい。 ただし、 <u>クラスみんな</u> が含まれない場合は講師が誘導して、必要な回答を盛り込むようにする 誘導例：「教室にいる人はだれでしょう？」 | カードを上げる 指された人が回答する | C1：父兄 C2：クラスみんな C3：先生 C4：他のクラスの人 |

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 使うもの |
|------------------|---|----------------------------------|--|
| 10:45 (11:40) | <p>4. <学校の外に貼る新聞を見る人の確認> 「スーパー富士屋の掲示板に貼るとだれが新聞を見る と思いますか？」 「わかった人は赤、わからない人は青を上げてくださ い」 「はい、カードを下ろしてください。」 (わかった人の中から2人に回答させる) →回答を黒板の余白(校外新聞の横がよい)に書く</p> <p>【ポイント】 回答は複数になってもよい。 ただし、<u>いろんな人、知らない人</u> といった 不特定多数を指すものがない場合は講師が誘導 して、必要な回答を盛り込むようにする 誘導質問例：「スーパーにはどんな人が来ますか？」</p> | <p>カードを上げる</p> <p>指された人が回答する</p> | <p>C5 : スーパーに買い物に来た人 C6 : 道路を通った人 C7 : お店(スーパー)の人 C8 : スーパーを通りかかった人</p> |

3. 解決する、検討する、発表する（20分）

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応 |
|--------------------------|---|---|---|
| <p>10:50 (11:45)</p> | <p>6-1. <1つ目の記事-友人の引越し- (学級新聞) を決める></p> <p>「まず、1つ目の記事を選びます。学級新聞の紙と黄色（記事1）の記事と、ピンクの記事（記事2）を出してください。」</p> <p>「黄色の記事（記事1）を読んでください。」 (誰かに音読させる) (読んでいる間に記事1と記事2を黒板“あ”に貼る) 「はい、ありがとうございます。」</p> <p>「次にピンクの記事（記事2）を読んでください。」 (誰かに音読させる) (読んでいる間に記事1と記事2を黒板“A”に貼る) 「はい、ありがとうございました。」</p> <p>「学級新聞には黄色（記事1）とピンク（記事2）、どちらの記事を載せたらよいでしょうか？ 少し考えて、どちらかを自分の新聞の“あ”の場所に置いてください。」 (少し間を置いて、全員の様子をざっとみる)</p> <p>「自分が載せたいと思う記事の紙を上げてください。」 「はい、紙を下ろしてください。」</p> <p>「黄色（記事1）がいいと思った理由は何ですか？」 (黄色の紙を上げた人を2人指名して回答させる)</p> | <p>学級新聞と記事1, 2を出す</p> <p>指名された児童が記事1を音読</p> <p>指名された児童が記事2を音読</p> <p>学級新聞の“あ”欄に記事1または記事2を置く</p> <p>記事の紙を上げる</p> <p>指名された児童が回答する</p> | <p>C9: 住所があるほうがわかりやすい</p> <p>C10: 住所が書いてあるから、クラスに貼ったほうがよいと思う</p> <p>C11: 住所が書いてあるから遊びに行ったり、手紙を書いたりできるから</p> |

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応 |
|----|---|--------------|---|
| | <p>「ピンク（記事2）がいいと思った理由は何ですか？」 （ピンクの紙を上げた人を2人指名して回答させる）</p> <p>「学級新聞は教室の中だから、どっちの記事でもいいよね。」</p> <p>（黒板の記事はそのまま2枚貼っておく）</p> <p>【ポイント】 教室に貼る新聞については、記事1、記事2のどちらが選択されてもよい</p> | 指名された児童が回答する | <p>C12：気持ちが書いてあるから</p> <p>C13：いろんな情報が書いてあるから</p> <p>C14：たっくんと書くとクラスの人にはわかるけど、外の人にはわからないから</p> |

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応 |
|------------------|--|--|--|
| 10:57 (11:52) | <p>6-2. <1つ目の記事—友人の引越し— (校外新聞) を決める></p> <p>「次にスーパー富士屋の掲示板に貼る新聞ではどうでしょうか。校外新聞と黄色(記事1)の紙と、ピンクの紙(記事2)を出してください。」</p> <p>「スーパー富士屋の掲示板に貼る校外新聞には黄色の記事(記事1)とピンクの記事(記事2)、どちらの記事を載せたらよいでしょうか? 少し考えて、どちらかを自分の新聞の“A”の場所に置いてください。」</p> <p>(少し間を置いて、全員の様子をざっとみる)</p> <p>「自分が載せたいと思う記事の紙を上げてください。」</p> <p>「はい、紙を下ろしてください。」</p> <p>「黄色の記事(記事1)がいいと思った理由は何ですか?」</p> <p>(黄色の紙を上げた人を2人指名して回答させる)</p> <p>「ピンクの記事(記事2)がいいと思った理由は何ですか?」</p> <p>(ピンクの紙を上げた人を2人指名して回答させる)</p> <p>【ポイント】 不特定多数の人に個人情報が漏れるからという理由が出てこない時は、講師が補足する</p> <p>補足例:「校外の新聞は(黒板にメモした見る人を指して)が見るんだよね。怖いおじさんが見るかもしれないね。住所が書いてあったら見た人が太郎くんの家に行くことができるよね。」</p> <p>「それでも外に貼っていいかな?」</p> | <p>児童用校外新聞と記事1、2を出す</p> <p>児童用校外新聞の“A”欄に記事1または記事2を置く</p> <p>記事の紙を上げる</p> <p>指名された児童が回答する</p> <p>指名された児童が回答する</p> | <p><黄色を選んだ理由></p> <p>C15:住所が書いてあるから</p> <p>C16:ピンクは遊びに行つてあげましようとかいてあるのに、住所が載っていないから</p> <p><ピンクを選んだ理由></p> <p>C17:二班より2組と書いてあるほうがわかりやすいから</p> <p>C18:気持ちが書いてあるから (本来の目的と違う視点でとらえている)</p> <p>C19:住所が書いてあると、変な人が家に遊びに行つてしまつて困るから</p> |

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応 |
|----|---|-----------------|-------|
| | <p>「それでは、もう一度みんなに聞いてみようと思います。」</p> <p>「自分が載せたいと思う記事の紙を上げてください。」 (紙の数を数える。)</p> <p>「はい、紙を下ろしてください。」</p> <p>「そうだね。校外新聞をスーパー富士屋の掲示板に貼った場合は色々な人たちが見る。もしかしたら怖いおじさんが見るかもしれないよね。だから住所の書いていないピンクの記事(記事2)を校外新聞に貼りたいと思います。」 (黒板の校外新聞“A”に貼ってある記事1をはがす)</p> | <p>記事の紙を上げる</p> | |

4. まとめ (10分)

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応 |
|--------------------------|--|------------------------------------|--|
| <p>11:05 (12:00)</p> | <p>9-1. <インターネットとの関連付け></p> <p>「ところで、みんなはインターネットって知っていますか？」 (パソコンの絵を見せる) 「では、インターネットって誰が見るのでしょうか？」 「わかった人は赤、わからない人は青を上げてください」 (わかった人の中から2人回答させる)</p> <p>【ポイント】 回答は複数になってもよい。 ただし、<u>いろいろな人、知らない人</u> といった校外より範囲の広い不特定多数を指すものがない場合は講師が補足して、必要な回答を盛り込むようにする 誘導補足例：「たとえば、図書館にもパソコンがありますね。図書館にはどんな人がいるかな。いろいろな人がいるよね。」</p> <p>「いろいろな人、知らない人が見るってことは、学校の外に新聞を貼るときと同じってことでしょうか？ たとえば、スーパー富士屋の掲示板に貼った場合は、スーパーに来て掲示板の前を通るいろいろな人が校外新聞を見ます。」</p> | <p>カードを上げる</p> <p>指名された児童が回答する</p> | <p>C20：家でインターネットをやる人 C21：学校で使う人 C22：世界中の人 C23：会社で見ている人 C24：おたくの人 C25：不審者</p> |

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応 |
|----|--|---|-------|
| | <p>「では、インターネットに新聞を載せた場合はどうでしょうか？ パソコンはみんなの学校や家、会社や電気屋さん、世界中のいろんなところにあります。 だから、インターネットに載せた新聞は、富士屋の掲示板に貼るときよりも、もっと多くの知らない人が見ることができるのです。」</p> <p>9-2. <個人情報が漏れるとどうなるかを体験する></p> <p>「では、インターネットに西奈太郎くんの住所が書いてある記事を書きます。」 (パソコンの絵に記事1を貼る) 「この記事には、新しい家に遊びに来てくださいと書いてありますね。」 「では、西奈太郎くんの役をお願いします。」 (男児一人を指名して太郎くんのおめんをつけてもらう。) では、みんなで太郎くんの家に遊びに行ってください。」 (悪い人役が太郎君のところに行く 「太郎くん、遊びに来たよ〜。）」</p> <p>「知らないおじさんが来ちゃったよ！ インターネットに住所を載せると怖いね〜。」</p> | <p>指名された児童がおめんをつける</p> <p>太郎君役のところ集まる</p> | |

| 時間 | 講師の発問 | 児童の学習活動 | 児童の反応 |
|----|---|--|-------|
| | <p>9-3. <まとめ></p> <p>(児童を席に戻さず、そのまま) ???</p> <p>「これからはみなさんもインターネットを使うことが多くなってくると思います。もしかしたら、インターネットに自分が書いたものを載せることがあるかもしれません。そのときには、インターネットはたくさんの知らない人が見るということに気をつけて、良く考えてから書くようにしてください。」</p> <p>「授業がおもしろかった人は赤、つまらなかった人は青のカードを上げてください。」</p> <p>「はい、カードを下ろしてください。」</p> <p>「ありがとうございました。」</p> <p>「では最後に赤いカードと青いカードを集めます。班ごとに集めて前に持ってきてください。」</p> <p>担任の先生にバトンタッチする</p> | <p>カードを上げる</p> <p>班ごとにカードを集めて持ってくる</p> | |